

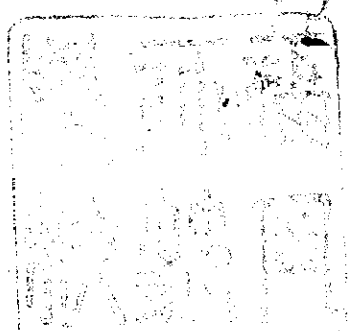
委國律例

福同第一師範學校
(學校圖書)

| | | |
|--------|---|---|
| 卷 冊 | 第 | 號 |
| 法律學部 | | |
| 記事彙 | | |
| 冊 | | |
| 冊 | 2 | 冊 |
| 分 冊 | 第 | 號 |
| 220.3 | | |

T1A1
23
Ka11be

0.4355



通法撮要卷二

瓊江何禮之 譯述

第五款 財產授受及典當ノ證券

凡ソ吾人遺書ニ基キ或ハ遺業ヲ承領シ或ハ購
 買シ或ハ贈賜ニ依リテ庄田ヲ已カ所有ト爲ス
 其ハ必ラス授受ノ證券ナカルヘカラス賣買ノ
 證券ナレハ賣主買主ノ姓名價金ノ額數及庄田
 ノ大量ヲ備ニ載セ且ツ賣主ニ於テ之ヲ買主并
 其業ヲ承ル者ニ永代譲リ渡シテ毫モ異變アル

マシキ明文ヲ記シ而ノ加判スル證人ノ面前ニ
於テ右證券ニ賣主躬ヲ其姓名ヲ書シ印判ヲ押
スヲ要ス

斯ク雙方ノ相對ニテ證券ヲ立ルト雖モ其庄田
赤タ公然ト買主ノ所有ニ歸スルトナシ必ス先
ツ其地方ノ裁判所ニ申報シテ官ノ簿籍ニ録セ
サル可ラス若シ賣主ニ於テ更ニ之ヲ他人ニ讓
リ渡ストアレハ證券ノ授受ハ後ナリト雖モ前
ニ裁判所ニ申報シタル人乃チ其庄田ノ主ト爲

ルナリ但シ後ノ買主其情ヲ知リテ授受ヲ約ス
ル者ハ其罪ヲ免レス

先ノ買主ヲシテ所有ノ權ヲ失セサラシメンカ
為ニ右申報ノ日限ニ猶豫ヲ與ヘテ後ノ買主ノ
争競ヲ塞キタリ此ノ日限ノ長短諸邦ニ於テ異
同アリテ十五日ヨリ二年ニ至ルナリ但シ先買
主定限ノ中ニ申報ノ手數ヲ怠ルハ庄田ハ後
買主ノ所有ニ歸スルト雖モ先買主ニ於テ賣主
ヲ相手ニ取リテ愬訟ヲ起シ庄田ノ價ヲ取戻シ

相當ノ償ヲ為サシメテ可ナリ
右證券ノ裏面ニハ相當ノ官吏批文ヲ加ヘテ券
主其面前ニ於テ本書ノ趣ニ相違ナキトテ誓言
シタル旨ヲ表明スルヲ要ス否ラサレハ申報ス
ル時ニ録事之ヲ取り用ヒサルナリ表明スル官
吏ハ諸曹ノ判司市長書記ノ内ニ頼ニ或ハ專務
ノ券證司アリテ之ヲ掌ルナリ斯ノ如ク券主證
人ノ印判及ヒ官吏ノ表明盡ク備ル上ハ録事ニ
於テ毫モ其全文ヲ殘サス之ヲ官ノ簿籍ニ記録

スルナリ

典當トハ債金ノ保據トシテ庄田ヲ債主ニ預ケ
置キ約定通りニ債金ヲ還納セサル時ハ右典當
ノ庄田ヲ債主ノ有ト為スヘキ契約ヲ云フナリ
若シ千金ノ庄田ヲ買求ルニ價金不足スル片
ハ今半額五百ノ現金ヲ地主ニ付シテ讓受ノ證
券ヲ取り替シ地名ノ姓名ヲ換ヘ置キ而シテ買主
ニ於テ右庄田ヲ其儘賣主ニ預ケテ未納ノ五百
金ノ保証ト為シ金額千金ノ算結ヲ俟チテ之ヲ

收受スルナリ若又約定ノ時ニ金ヲ納メ能ハサ
レハ右典當シタル庄田ヲ賣却シ其價五百金余
ニ至レハ乃チ五百金ヲ典主賣主ヲ預ル者ニ引キ
去リ剩金ヲ買主ニ與ユルナリ
實産ヲ人ニ讓リテ他日相違ナキ趣ヲ表スルニ
ハ其妻ヲシテ証券ニ連署セシメ而シテ右證券ニ
裏書スル官吏其夫ヲ避ケテ其妻ヲ呼ヒ實ニ情
願ニテ連署セシ乎或ハ亦タ夫主ノ威迫ニアラ
サルハ無キ乎ヲ詰問スルヲ要ス

夫没シテ妻存スルハ實産ノ三分ノ一ヲ割キ
テ寡婦ノ所有ト為シテ終身ノ保養ニ充シム可
シ之ヲ寡婦ノ利分ト云フ

第六款 無形ノ産業 道路水利等ノ權
義

土地及其中ニ全載スル處ノ樹木屋宇ノ如キ天
造人工ノ基業ヲ該シテ有形ノ産業ト稱シ郊原
ニ牛羊ヲ飼牧シ或ハ他人ノ田地ヲ通行シ或ハ
水利ヲ使用スルカ如キハ其原ヲ有形ノ基業ニ

發スト雖モ自ラ別種トナシテ其人一己ノ權義
ニ屬セリ之ヲ無形ノ基業ト稱ス
道路ノ權トハ其人ニ限リテ他人ノ土地ヲ通行
シテ妨ケナキヲ云フ多クハ地主之ヲ其人ニ與
授スル者ナリ此權ハ田土ノ如キ實產ヲ所有ス
ルニアラス唯々之ヨリ所起ノ利分ノ一部ヲ享
用スル者ト雖モ之ヲ永代ノ業ト為スニハ必ラ
ス証券ヲ以テ之ヲ表明セサル可ラス
若シ其權一身ニ限ル時ハ其人死スレハ即チ止

ム然レモ我カ實產ニ原來此權ヲ具スル時ハ之
ヲ賣却スル時ニ田土ト俱ニ買主ノ所有ト爲ル
ナリ譬ヘハ甲乙二個ノ土地ヲ所持スル人アリ
テ平日甲地ニ達スル為メニ乙地ヲ通行シタリ
シカ今甲地ヲ割キテ之ニ所屬ノ權ヲモ合シテ
他人ニ賣却スル時ハ買主ニ於テ乙地ヲ通行ス
ルヲ賣主所持中ニ異ナルコトアル可ラス
又止ムコト得サル情實ヨリ道路ノ權ヲ生スルコ
トアリ若シ我田地ノ一分ヲ割キテ他人ニ賣リ而

ノ残ル處ノ田地ニ道路ナキ時ハ乃チ賣却シタル田地ヲ通行シテ妨ケナシ若シ又賣却シタル田地我所剩ノ地内ニ包マレテ道路ナキ時ハ買主ニ通行ノ權ヲ與ヘサル可ラス道路ノ權ハ即チ田地所屬ノ一部ニテ田地ニ隨ツテ授受スル者ト知ル可シ

他人ノ土中ニ水道ヲ通スル免許ヲ得ル者ハ之ヲ修覆スル時ニ其地ヲ掘開シテ可ナリ蓋シ一物ノ受用ヲ許スホハ之ヲ受用スルニ就キテ缺

ク可ラサル事ハ素ヨリ之ニ屬スヘキ常法ナレハナリ

若シ積雪洪水其他ノ故障ニ依リテ官道壅塞スルキハ其傍ノ土地ヲ通行シテ可ナリ私路ニ先云ハル一身ニ限リ或ハ其壅塞スル時ハ此權アル田地ニ屬シタル道路ハ其壅塞スル時ハ此權アルナシ

時トシテハ黙許ニ依リテ道路ノ權ヲ得ルニアリ黙許トハ數年ノ間之ヲ受用シテ知ラス識ラス其人ノ所有ト爲ルヲ云フ此權ヲ得ルニハ無

理ノ事ナク二十年ノ間其人或ハ其先代ヨリ他人ノ田地ヲ通行シテ故障ヲ生セサルヲ要ス然ルルハ其初ヨリ公ノ證券アルトナシト雖モ法ニ於テ之ヲ相當ノ所有ト看做スナリ官道ハ左右ノ地主ニ屬シテ中央ヲ以テ其境ト為ス路人ハ右官道ノ絶ヘサル間ハ通行ノ權ヲ得ルノミナリ故ニ道ヲ壞チ土ヲ堀リ或ハ傍ノ樹木ヲ斬伐スル人アルハ左右ノ地主ニ於テ懇訟ヲ起シテ賠償ヲ取り而テ往還ヲ妨クルニ

アラサレハ地中ニ水管ヲ通シテ之ヲ用フ可シ水流ニ沿フ處ノ地主ハ自ラ其地ニ沿フテ流ル處ノ水ヲ用フル權アリ然レモ無法ニ之ヲ壅留シ或ハ天然ノ方向ヲ轉ス可ラス其ノ用便ヲ充タル后チハ必ス之ヲ本流ニ放ツ可シ堰柵ヲ設ケテ上流ノ田地ニ泛濫セシム可ラス又下流ノ田地ノ害ト為ルヘキ事ノ如キハ恣ニ之ヲ使用ス可ラス水利ヲ用フル權ハ田地ニ屬スル使用ニ齊シク

黙許ヲ以テ之ヲ得失シ之ヲ増減ス即チ其人ノ
職業ニ因リテ水量ヲ減シ或ハ其質ヲ亂スア
リ然レモ二十年ノ間之ヲ用ヒ来ルルハ法ニ於
テ之ヲ其人ノ權義ト看做シテ他人之ヲ咎ム可
ラス
二十年ニ滿ツレハ水利日光其他ノ便用ヲ獨占
シテ他人ノ之ヲ犯スヲ禁止シテ可ナリ而ノ必
スシモ一人ノ受用ニ限ラス父子相續シ或ハ買
賣授受シテ其期ニ届クキハ乃チ其主ト為ル

我不判ノ法典ナリ
既ニ二十年ノ使用ヲ以テ此人ノ主權ヲ有スルカ
故ニ二十年之ヲ用ヒサレハ又之ヲ失ズルナリ
譬ヘハ地主アリ其田地ヲ二十年間用ユルトチ
ク荒蕪ニ委シ而ノ他人無理ノ事ナク其間之ヲ
用ユル時ハ乃チ其地ハ此ヲ去リテ彼ニ赴ク可
キ理ナリ
第七款 貸券 一代ノ基業 年限ノ基
業 任意ノ基業 因循ノ基業

賃租

證券ヲ以テ授受スル實産ヲ繼續ノ基業ト稱シ
テ地主之ヲ繼嗣ニ傳フ所謂永代ノ田土是ナリ
期限ヲ定メ約券ヲ立テ田土ヲ所持スルヲ有限
ノ基業ト稱シテ一年以上ニ及フ者ハ約券ヲ官
ニ呈シテ記録ヲ乞フリ典券證券ニ於ルカ如シ
有限ノ基業ニ數種アリ終身年限任意因循ノ賃
業是ナリ賃主存生ノ間所持スルヲ終身ノ業ト
稱ス然レモ地主賃主雙方ノ相對ニテ終身ノ業

ヲ所持スル者ハ甚タ稀レニシテ多クハ法ニ基
キテ之ヲ有スルナリ即チ妻ハ實産未嫁ノ前及
者ヲ夫主管轄シ夫没スル後チ其三分之一ヲ其妻
受用スルカ如キ是ナリ

一定ノ租ヲ出シ期限ヲ定メテ實産ヲ所有シ其
利ヲ得ルヲ年限ノ業ト稱ス而シテ其期甚ダ長ク
實ニ人壽ノ限ヲ過ル者ト雖モ法ニ於テハ之ヲ
年限ト看テ終身ノ業ト爲スノ無シ
一年ニ充タル期限ノ者ハ約券ニ有限ノ借地ト

載スヘシ且又一季ノ收穫ヲ得セシムル者ハ借
地ニアラス其田ハ依然トシテ地主ノ有ニ歸ス
ナリ
約券中特ニ明文アルニアラサレハ貸主年限中
ニ其土地ノ所生ノ利分ヲ獨占シ而シテ之ヲ轉貸
シテ可ナリ然レモ其本地ニ係ル出入等ハ原ノ
貸主ニ於テ免レサル處ナリ
賃田ノ期限播種ノ後刈獲ノ前ニ盡キル時ハ其
稻禾ハ地主ニ歸ス蓋シ賃主ニ於テ右約券ハ某

月某日ニ盡キルヲ知ラハ其期ニ至ラサレハ
刈獲スヘカラサル物ヲ植ユルヲナクシテ無益
ノ勞ヲ省ク可ケレハナリ然レモ歲月ヲ限ラス
一定ノ事故生スルヲ以テ還納ノ期ト定メタル
約券ナレハ右期ニ及ンテ禾稻未タ孰セサル時
ハ地主ニ於テ其刈獲ノ終ルヲ俟ツ可シ
年租ヲ出ス約定ナレハ水難火災或ハ貸主ノ過
失ニ出ルニアラスシテ收納ヲ減シ利分ヲ失ス
ル事故相起ルト雖モ之ニ托シテ租金ヲ免除ス

ヘカラス又別ニ明文ナケレハ債主其地ニ脩覆
ヲ加ユルコトナク傾倒ノ虞アル時ハ屋主ニ告ケ
スシテ直ニ之ヲ去リ其日ヨリノ租金ハ納メス
シテ可ナリ

租金收納ノ場所ハ其住宅ト定ム可シ約券中ニ
場所ヲ示サ、ル時ハ雙方出會スル處ヲ其地ト
定ム可シ又收納ノ時日ヲ定メサル時ハ其土地
ノ習俗ニ從ツテ一年半或ハ一季ヲ定期ト為
ス可シ斯ノ如キ一定ノ風習無キ處ニ於テ常ニ

歳末ヲ以テ定期ト爲スナリ
年限ノ長短ヲ定メス地主ノ意ニ隨ツテ與奪ス
ヘキ賃田ヲ任意ノ基業ト云フ此ノ賃田ハ行ハ
ル、コト甚タ稀レニシテ萬一之有ルト雖モ法上
ニテ之ヲ見ル時ハ毎年約ヲ改メテ所貸ノ者ト
為シテ地主債主ノ雙方右ノ約定ヲ止ムル前六
ヶ月中ニ預メ其趣ヲ報知スルヲ常トス
賃期既ニ盡キタル後チ地主之ヲ復収スハコトヲ
怠リ因循シテ一定ノ歲月ヲ經ルキハ債主租ヲ

出スヲナクシテ依然ト其利ヲ占ノ或ハ地主ニ
報告セスシテ之ヲ離レテ可ナリ之ヲ因循ノ基
業ト云フ其後ニ至リテ地主其田ニ入リテ之ヲ
収復スルハ其時情ニ後ツテ穩ニ貸主ヲ退
ケ其什物ヲ遷ス可シ若シ暴カヲ以テ無理ニ之
ヲ退遷セシムル時ハ貸主惣訟ヲ起シテ賠補ヲ
乞フテ可ナリ

第八款 約書ノ通則

約書トハ一定ノ事務ヲ蹈ニ守リ或ハ之ヲ行フ

マシキ旨ヲ二人以上ニテ互ニ約定シタル文書
ナリ現ニ今約言ノ趣意ヲ蹈守ルニアラス或ハ
他日甲ニ於テハ所約ノ價ヲ以テ貨物ヲ賣リ乙
ハ之ヲ買フ可キ者ヲ未來ノ約定ト云ヒ文書上
ニ明言アリテ之ヲ守ルヘキヲ明約ト云ヒ約中
ニ二條アリテ其一ヲ記シテ其二ヲ略シ其一ヲ
行フニ就キテハ其二ヲ缺ク可ラサルヲ默約ト
云フ之ヲ喩フルニ一名ノ工人ヲ雇フヘキ約ヲ
為スニ唯々其雇用ノミヲ記スルハ之ニ雇直ヲ

與フ明言ナシト雖モ雇主ニ於テ之ヲ與ヘサル
ノ理ナキカ如キ是ナリ
約書ニ特約通約ノ別アリ證券ノ如キ押印ノ文
書ヲ特約ト云ヒ無印ノ約書ヲ通約ト云ヒ又夕
口約ト稱ス通約ニ載セタル雙方ノ趣意ヲ證ス
ルニハ口上ヲ以テ之ヲ表明シテ可ナリ然レモ
口上ノ表明ハ約文中ノ疑團ヲ解キ其不足スル
處ヲ補フ者ニテ文意ヲ改メ旨趣ヲ變ス可ラズ
正當ノ契約ヲ結ス者ハ雙方俱ニ約ヲ結フヘキ

器量ナカルヘカラス故ニ失心ノ人狂痴ノ人ハ
契約ヲ結フ可ラス失心狂痴ノ名義ヲ以テ契約
ヲ廢棄スルニハ本人右約ヲ結フキニ於テ既ニ
本心ヲ失フタル事實ヲ舉ケテ之ヲ表示ス可シ
且ツ又一夕ヒ狂痴ト所行アルキハ衆人之ヲ目
シテ失心ノ人ト為シテ之ト約ヲ結フ可ラサル
者故ニ約ヲ守ラシメント欲スルニハ右約ヲ結
フキニ當リテ本人決シテ本心ヲ失ハサリシ事
實ヲ舉ケテ之ヲ表明スヘシ而シテ狂痴ト否ラサ

ルヲ區別スル常法ハ尋常ノ職業ヲ營ミ得ルト
否サルトヲ以テ決ス可シ

酒ニ沈湎シテ本心ヲ失シ是非ヲ辨セサル間ハ
約ヲ結フ可ラス然レモ其約スルノ衣食ノ要需

ニテ醉中之ヲ費シ醒後其償ヒヲ出スヘキ者ナ
ルモハ醉客ト雖モ其言ヲ食ム可ラス

又一方ノミ許諾シテ一方之ヲ肯セサレハ約ト
為ラス雙方既ニ許諾スルト雖モ其許諾雙方ノ
情願ニ出サレハ約ト為スヘカラス故ニ威ヲ以

テ迫リ或ハカヲ以テ後ハシメタル約ハ一時ノ
危害ヲ免ル、為メノ許諾ニテ之ヲ守ル可ラス
且又約ヲ結フニハ約中ノ情實ヲ知ラサル可ラ
ス故ニ欺騙ニ出サル者ト雖モ約中ノ綱領ヲ失
悞シ或ハ全ク之ニ通セサル時ハ約書ヲ廢紙ト
為スナリ然レモ強ク法律ニ通セスシテ失悞ヲ
招ク者ハ其約ノ為メニ罰ヲ蒙ムルハ當然ノ事
ニテ不知ヲ以テ之ヲ免ル可ラス
約中ニハ約實ヲ立テ抵償ノ道ヲ設ケサル可ラ

ス之ヲ「コンシドレ」シヨント六フ「コンシトレ」
「シヨ」ンハ約ヲ結フ趣意トシテ雙方授受スル
處ノ事物ヲ指スナリ故ニ人ヲ僱フテ工作セシ
ムル約定ニハ給料即チ「コンシドレ」シヨント
爲ル「ワリユエ」ブル「コンシドレ」シヨントハ
約ヲ結フ者ノ利害損得ト爲ル者ヲ指スナリ
相互ノ約諾而已ヲ以テ契約ノ徴ト爲シ雙方ヲ
シテ之ヲ固守セシムルニ足ル「ア」リ然レモ其
約諾ハ必ズ同時ニ出テ之ヲ以テ互ニ約中ノ約

實ト爲ス可シ若シ甲乙ノ兩名隔遠ノ地ニ住シ
甲ヨリ乙ニ書ヲ贈リテ契約成就スル「ア」リ而
シテ乙ニ於テ未タ右領諾ノ答書ヲ發セサル前ニ
再ヒ甲ノ書ヲ得テ其書中ニ約ヲ止ムル文言アル
ルニ於テハ此約ヲ未タ結ハサル者ト爲シテ可
ナリ
全ク情誼ニ出タル許諾ハ契約ト同一ニ爲ス可
カラス蓋シ情誼ニ出タル者ハ之ヲ行フテモ約
主ノ利ト爲ラス之ヲ守ラスシテモ他人ヲ損害

セサルカ故ニ法律ニ於テ之ヲ樞要ノ約實ト看
做サレハチリ此故ニ公エヲ修繕シ貧困ヲ救卹
シ其外學校寺院ニ寄附スルナドノ者ハ之ヲ以
テ他人ヲ激勵シテ金銀ヲ競輸セシメ或ハ之ヲ
納メザルトモ其人ノ損害ト為ルニ非レハ其奉
納ヲ促ス可ラス
既ニ情誼ノ許諾ハ約實ヲ缺クヲ以テ一宣ノ契
約ト為ルヲ無キト同理ニテ火災ノ時ニ自ラ好
ンテ人ノ財貨ヲ運搬シ或ハ失主ノ畜類ヲ復ヘ

シ或ハ當主ノ願ナキニ其債ヲ代償スル如キ一
時ノ所為ハ全ク恩惠ニ出タル者ニテ原来約實
ナキカ故ニ之ヲ以テ賠償ヲ請フト雖トモ法
於テ許スヲナシ然レモ其ノ田地ヲ耕シ或ハ其
禾稻ヲ刈獲スルモ當リテ當主之ヲ知リテ禁
セスシテ其人ヲ勞スルモ其勞當主ノ命ニ出
ルニアラサレモ之ヲ黙許スルハ乃チ之ヲ使役
スル道理ニテ其勞ヲ償ハサル可ラス
約實ハ人カノ及フ處ニ限り正道ニ基キテ法律

ニ違ハサルヲ以テ根基ト爲ス夫レ人カノ爲シ
能ハサル者ハ法ニ於テ之ヲ務メシムルト無キ
カ故ニ此ノ如キ契約ハ行フ可ラサルトシテ
之ヲ取用ユルトナシ然レモ事實人カノ及フ處
ニシテ全ク一時ノ故障ニ依リテ之ヲ行フ可ラ
サルトアリ此ノ如キハ其約ヲ守ラサルヲ得ス
即チ病氣ニテ約條ノ務ヲ遂クル能ハス或ハ之
カ爲メニ所約ノ物料ヲ交付シ能ハサルトアリ
ト雖モ之ヲ以テ約務ヲ免ル可ラス必ス相當ノ

賠償ヲルヲ要ス

法憲ニ悖リ或ハ道義ニ合ハサル契約ハ雙方何
處ニ於テモ之ヲ守ラスシテ可ナリ蓋シ人タル
者ハ天道國法ノ所禁ノ事ヲ務メ行フ可ラサレ
ハナリ然レモ非理ノ契約ヲ結ビ遂ケ法外ノ事
ヲタルタルホハ之ヲ為シタル者後ニ之ヲ止メ
テ以テ其罪ヲ免ル可ラス是レハ人其罪ヲ過悞
ニ諉セントテ防ク普通ノ規則ナリ但シ實ニ其
情ヲ知フサル者ハ之ニ坐スルト無シ

我國ノ通法ニテハ約ヲ結ンタル時日ヨリ一年ノ間之ヲ行ハサル者ハ無用ソ契約ト為ルナリ故ニ右期限後ニ至リテ取り用フ可キ者ハ其旨ヲ約書中ニ書サ、ル可ラス

第九款 買賣ノ約書

一定ノ價ヲ取リテ物主ノ權利ヲ他人ニ讓リ即チ物料ノ工値ニ齊シキ貨幣ト之ヲ交換スルヲ買賣ト云此物ト彼品トヲ交易スルヲ貿易ト云フ但シ永久ノ權利ヲ付與スル者ニアラサレハ

之ヲ典當ノ約書ト為スナリ法ニ於テ買賣ノ約定ヲ見ルモ自余普通ノ約ヲ結フ條理ニ異ナル一ナシ乃チ約ヲ結フヘキ雙方ノ人品約實ノ全備シテ其ノ法ニ適シ道ニ合シ雙方ノ承諾及ヒ偽詐ヲ挾マサル等是ナリ

正當ノ買賣ヲ為スニハ賣品必ラス實質定形アリテ買主ニ交授シ得ヘキモノナルヲ要ス故ニ今甲ノ馬若クハ物貨ヲ乙ニ賣與スルニ受授ノ中ニ至リテ右馬死傷シ或ハ物貨損壞スル一ア

レハ乃チ賣買ハ無實ト爲ル若シ又石物貨ノ損
壞微少ナルトハ買主ニ於テ相當ノ價ヲ減シテ
之ヲ取り或ハ全ク約定ヲ廢スルト其意ニ在ル
可キトナリ

右賣物ハ現ニ實形ヲ有セサルト雖モ後來實形
ヲ具ス可キ性質アリ或ハ今日賣主ニ於テ有ス
ル處ノ權利ヨリ生産増息ス可キ物品ナルトハ
之ヲ買賣シテ妨ケナシ即チ所飼ノ羊ヨリ生發
スヘキ毳毛或樹木ニ結フヘキ果實或ハ此後ニ

生スヘキ雜糞ノ類是ナリ然レモ未ダ其家ニ有セ
ス此後ニ買購ム可キ處ノ牛羊ヲ以テ今日其ノ
毛乳犢子ノ如キ產物ヲ賣ルトヲ約ス可ラス但
シ一定ノ價ヲ以テ現ニ所有セサル貨物ヲ購辦
シ或ハ後日之ヲ交付スヘキ約書ヲ立ツルハ乃
チ現ノ買賣ニアラス唯タ其ノ約定ニシテ之ヲ
行フテ妨ケナシ

買賣スルニハ價值ナカルヘカラス價值ハ確定
シテ移易セス或ハ之ヲ約書ノ條理ニ照應シテ

定メ難カラサル者ナルヲ要ス是レハ他日雙方
異議起ルニ當リテ之ヲ決定スルニ容易ナラシ
メンカ為メナリ故ニ買賣スル人ハ必ラス當日
當地ノ流價相場或ハ約外ノ人ノ所定ノ價值ヲ
以テ之ヲ約シ而シテ正金若クハ其代ヲ為ス楮幣
印票ヲ以テ之ヲ償フヘシ物ト物トヲ換ユルヲ
交易ト稱シテ之ヲモ買賣ノ條理ヲ以テ經營ス
ルナリ
買賣交易ノ約ヲ為スルニハ先ツ雙方互ニ領諾

シテ此方ヨリ謀ル處ノ條理ヲ彼方ニ於テ許允
シ而シテ後チ議定ノ趣意ヲ文書ニ載ス可シ
買賣ノ約書ハ直ニ物ト價ヲ取り替シテ其時ニ
成就スル者ニアラサルカ故ニ雙方ニ於テ遵守
ス可キ一定ノ規律アリ乃チ第一賣主ニ於テ先
ツ右賣物ノ一部ヲ收受ス可キ第二右買賣ノ
約ヲ確定センカ為メニ價值ノ一部ヲ拂フ可キ
第三之ヲ取扱フ處ノ手代仲買ニ於テ添書シ
テ記名ス可キ是ナリ但シ右ハ洋銀四十元以

上ノ買賣ニ限ルナリ

買賣ノ約ヲ遂ケ物主ノ權ヲ賣主ヨリ買主ニ讓ルルニハ必ラス右賣物ヲ交付ス可キヲ要ス若シ右賣物親手ニ握投シ能ハス或ハ賣主之ヲ収管セサルルハ法ニ於テ現物ヲ交付スルヲ要セス唯之ヲ買主ノ管轄ニ歸シ或ハ物主ノ權ヲ交換シタル明徴ヲ証スヘキ雙方ノ所業アルヲ要ス而シテ物主ノ權一旦買主ニ歸スル上ハ其實受_{スルヲ云}意授_{無形ノ者ヲ證書ニ拘ラス物品}

ニ生スル處ノ損傷等ハ捻テ買主ニ於テ之ヲ負ハサル可ラス

若シ約書ニ物品ヲ交付シ或ハ價值ヲ補償スル時日ヲ載セサルアルキハ價值ヲ償得スル日ニ至ラサレハ買主之ヲ所有ス可ラス蓋シ買主ニ於テ約ヲ立タル時ニ物主ノ權ヲ得ルト雖トモ所有ノ權ハ價ヲ拂ハサレハ之ヲ得サレヲ以テナリ然レモ賣主ニ於テ情願シテ之ヲ交付シ而シテ買主ニ於テ奸詐ノ計ナキ時ハ一時ニ物主ノ

權ノ所有ノ權トヲ併セ有シテ可ナリ
 貨物ヲ賒賣スルキニ交付ノ時日ヲ載セサルハ
 アレハ直ニ約ヲ遂ケタル時ヨリ買主ノ所有ニ
 歸スルナリ若シ未タ之ヲ所有セサル前ニ買主
 ノ家産破レ或ハ後日其價ヲ償ヒ能ハサル如キ
 厄難アルトヲ賣主ニ於テ承知スルキハ乃チ右
 價金ノ典當トシテ之ヲ押留シテ可ナリ然レモ
 相當ノ緣由ナク或ハ他人ノ訛傳ヲ以テ之ヲ押
 留スルハ貨物ハ乃チ買主ノ所有ニ屬スル故

賣主ニ於テ押留スル間ノ損失ヲ償ハサル可
 ラス

物質ノ良否ニ至リテハ預メ賣主ニ於テ之ヲ保
 固シ或ハ詐リテ之ヲ良品ト稱シ或ハ其醜ヲ掩
 フノ計アルニ非レハ之ヲ償補スルヲ要セス乃
 チ賣主ニ於テ保固ノ明文ヲ立テス奸詐ヲ圖ラ
 スレテ雙方俱ニ其物品ヲ検査シタル上ハ耳目
 ノ達セサル處ヨリ生スル損傷ハ捻テ買主ニ歸
 スルト通常ノ法則ナリ

然レ凡買主ニ於テ一定ノ品質ヲ極メテ之ヲ委
辦シ或ハ賣主ニ於テ一定ノ品質ヲ記シテ之ヲ
賣リ而メ交付ノ時ニ到リテ其所約ノ品質ニ合
セサル者ハ約ヲ破リテ之ヲ斥ケテ可ナリ是レ
ハ買主親ラ其物ヲ検査セサル故ニ賣主意中ニ
之ヲ保固スル理アレハナリ又情ヲ知り其醜ヲ
掩フモ買主ノ検査ヲ遁ル、理ト同シキカ故ニ
不正ノ經營ト為シテ約ヲ破リテ可ナリ
凡テ買賣スルニ若シ買主其物ノ精粗ヲ知ラス

或ハ其物包蓋ノ中ニ在リ或ハ耳目ノ達セサル
處アルキハ賣主ハ務メテ其ノ所知ヲ舉ケテ之
ヲ買主ニ通セサル可ラス乃チ人ヲ欺カス正路
ノ經營ヲ為ス者ハ其缺事ヲ隱サスシテ真約ヲ
結フヲ本意トナスヘシ

第十款 財主 管業 手代 牙僧 質物

財主ノ寄托ヲ承ケテ其事業ヲ取扱フ者ヲ管業
或ハ手代ト稱ス管業手代ハ皆ナ他人ニ代リテ

事ヲ扱フ即チ名代ノ義ナリ其内ニテ手代ハ何業ニ拘ラス他人ノ寄托ヲ受タル者ヲ指ス故ニ其名自ラ博シ管業ハ重ニ他處ニ住メル商人ノ手代ニテ其引合ヲ以テ賣買ノ事ヲ辨スル者ヲ指ス管業ハ財主ノ勤務ヲ為ス可キ委任ヲ受ケ加フルニ買賣スル貨物ノ價ニ就キテ一定ノ口錢ヲ取ル故ニ亦タ行商ト稱スルコトアリ若シ管業其預ル處ノ財産ノ為メニ先ニ財主ニ金ヲ出スコトアルキハ右金ヲ返納シ諸費ヲ償フ

迄之ヲ抑留シテ可ナリ又タ管業ニ於テ預ル處ノ財産ノ實主ヲ知ラサル者ハ之ヲ輸送シタル姓名ヲ以テ財主ト心得ヘシ財主ニ討索スルコトアリテ管業ニ於テ其預ル財産ヲ抑留シテ以テ清算ヲ俟ツコトアリ此權ヲ質物ト云フ質物ノ財産ハ管業ニ於テ之ヲ賣却シ其逋債ニ當テ、妨ケナシト雖モ過剩ノ金ハ必ラス財主ニ返納セサル可ラス管業ハ其預ル財産ヲ典當ニ出シテ已ノ逋償ニ

充タス可ラス者シ妄ニ所預ノ貨物ヲ所置シ之
ヲ已カ私用ニ當テ偽詐ノ情實顯然タルハ刑
法ヲ以テ之ヲ罰シテ課金ヲ出シ或ハ獄ニ繫カ
ルヘシ
尋常ノ商業ニ於テ財主管業ノ所行ニ依リテ其
責ニ任スル境界ヲ一定スルノ甚々難シ凡ソ管
業タル者ハ財主ノ為メニ萬事ヲ取扱ヒ或ハ一
定ノ商業ヲ営ムニ就キテノ諸務ヲ取扱ヒ或ハ
一定ノ事務ノミヲ取扱フニ拘ラス右周旋中ノ

所行ハ恣テ財主ニ於テ其責ニ任スルヲ要ス私
約ヲ奉セス其命ニ違フ等ヲ以テ之ヲ免ル可ラ
サルヲ常法トス然レモ一定ノ事務ヲ取扱フハ
ニ其任ヲ越ヘテ起ル處ノ者ハ財主其責ニ任ス
ルナシ
都テ營業ハ財主ノ下知ヲ遵奉スルヲ要ス假令
之ニ違フテ周旋スルハ現ニ財主ノ利ト為ル
トアリト雖モ法ニ於テ之ヲ許サス故ニ若シ下
知ニ従ハスシテ損失ヲ生スルトアレハ營業ノ

身ニ於テ之ヲ償ハサルヘカラス又タ之カ為メ
ニ利益アレハ直ニ財主ト得トナルナリ然レモ
一旦ノ下知ヲ受ケタル后ニ不意ノ事情起リテ
財主ノ害ト為リ其趣意ニ違ハサルヲ得サル時
宜ニ及フキハ稍用捨ノ所行アリテ妨ケナシ
一定下知ヲ兼ケサルキハ商業ノ通則ニ從ヒ或
ハ其ノ舊習ヲ守リテ周旋ス可シ之ニ違フカ為
メニ損失ヲ招クイアルキハ事實倉卒ニ出テ止
ムヲ得サルニアラスンハ其損失ヲ皆ナ管業ノ

者ニ歸スルナリ

管業ハ尋常ノ精勤及凡庸ノ才能ヲ具有セサ
ヘカラス懶惰或ハ愚昧ヨリ所生ノ損失ハ乃チ
管業ノ不念ト為ルナリ尋常ノ精勤トハ乃チ平
常ノ人其業ヲ營ムヘキ當務ニ怠ラサルヲ云フ
凡庸ノ才能トハ世人各其職ニ得堪ユル處ノ器
量ヲ云フ

若シ管業其權ノ境ヲ超ヘテ事業ヲ取扱フ中ニ
之ト事ヲ營ム人其權ノ境ヲ知ラサレハ則チ所

生ノ得失盡ク其入ト管業ト、相對ト為ル又ク
管業ノ名ヲ以テ約書ヲ立テ而シテ財主ノ名ヲ出
ス、無キハ假令管業ノ所行其權ノ中ニ在リ
テ財主其責ニ任ス可キ時ト雖モ管業ト其人ト
ノ約定トナルナリ然レモ管業ノ名ヲ以テ貨物
ヲ買ヒ而シテ之ヲ財主ノ用ニ供スルキハ財主ノ
名ヲ出ス、ナシト雖モ財主其責ニ任ス可シ若
シ財主未タ成年ニ至ラス或ハ狂愚或ハ約ヲ為
スヘキ人物ニアラサルハ都テ管業ニテ其任

責ヲ蒙ルヘシ

牙錢ヲ抽キ勞費ト為シ兩造ノ間ニ入シテ買
賣ヲ周旋スル雇人ヲ牙僮ト云フ牙僮ノ業ハ專
ラ交易ノ事ヲ取扱ヒ或ハ貨物舟車ヲ買賣シ或
ハ人ノ為メニ危險ノ請負ヲ約シ損失ヲ談決シ
各ノ専門ノ業アリ故ニ仲買、株賣、保險ノ仲人等
夫々ノ稱アリ

牙僮ハ管業ト大ニ異ナル處アリ乃チ財主ノ貨
物ヲ保護セス唯タ買賣ノ約書ヲ取換ス耳ニテ

其事ヲ遂クル中ハ其業忽チ畢ルナリ若シ才儉ノ周旋ニ就キテ利益ヲ得ルコト無ク或ハ物ヲ賣ルニ就キテ不正ノ所行アルコトヲ知ラハ牙錢ヲ與ヘスシテ可ナリ

營業ニ於テ其預ル財産ヲ留メテ質物ト為スハ既ニ前條ニ出セリ此ノ質物ノ權ハ營業ノミニ在ラス工匠ノ諸職其他苟クモ人ノ爲メニ更ニ營運スル者ハ皆此權アリサルハ無シ即チ縫物師ハ士立貢ヲ得ル迄主顧ノ衣服ヲ留メ客店

ノ主人ハ其行李ヲ留メ又チ脚刀擔夫ハ其搬運スル處ノ貨物ヲ交付セサル可シ然レモ他ノ逋債ノ為メニ之ヲ扣留シ或ハ之ヲ賣リテ其償ニ充タス可ラス而シテ其貨物一タヒ其手ヲ離ルル中ハ直ニ質物ノ權ヲ失スル者ナリ

第十一款 夥伴 一名組合仲間

二名以上ノ人相集リテ各其金ヲ鑲シ或ハ勞巧ヲ合シテ正路ノ業ヲ營ミ其人數ニ比例シテ損得ヲ俱ニ蒙ムルヘキ約定ヲ為スコトアリ之ヲ組

合仲間ト云フ又々仲間ト云テ金ヲ出ス下チ甲
ハ金ヲ出シ乙ハ勞ニ任シ或ハ甲乙俱ニ其勞ヲ
分ツ者アリ之ヲモ組合ト云フ而ノ仲間相整フ
キハ乃チ某組某局ノ名ヲ稱スルナリ
其組ノ中ニテ一人ノ所行ハ即チ仲間惣体ノ所
行ニ屬シ一紡連坐シテ其逋債ニ任スルヲ要ス
然レモ若シ組中ノ一人其名ヲ以テ切手或ハ手
形ヲ出シテ惣体ノ會計ニ屬スルヲ説明セサ
ルキハ組中ノ為トニ之ヲ取扱フ者ト雖モ名ヲ

出シタル一人ニテ其責ニ任セサル可ラス但シ
一己ノ用ニ供センカ為メ一名ヲ以テ貨物ヲ購
ムルト雖モ其後組中ノ公用ト為ルキハ惣体ノ
負荷ト為ルヘシ
時トシテハ一人ニテ田地或ハ製造所ノ賃租ヲ
取リテ其利ト為スコトヲ約シ或ハ手代筆生ニテ
一分ノ益ヲ取リテ其勞ニ充タスコトアリ然ルキ
ハ組合ノ中ニテ各別ノ事業ト為ルカ故ニ唯々
之ニ關係スル者ノミ之ニ任シテ一体ニ連坐セ

組合ハ都テ一紛ニテ調訟ヲ興シ願主ト爲リ相
手ト爲ルヘシ若シ逋債ヲ負フキニ至リテ其責
ヲ免レンカ爲メニ姓名ヲ匿シ置ク者アリ其後
ニ露頭シ而テ兼テ其業ノ利ヲ蒙ムル者ナルキ
ハ連坐スルヲ勿論ナリ
組中ノ一人其株ヲ他人ニ賣リ此人ヲ已ニ代リ
テ仲間ニ入レント欲スルキハ預メ惣体ニ請フ
テ其承諾ヲ得サル可ラス又タ一定ノ期限ヲ設

ケサル者ニ非サレハ已カ隨意ニ仲間ヨリ身ヲ
退ク可ラス但シ組中ノ一人死シ或ハ本心ヲ失
シ或ハ産ヲ潰スキハ組合相解ケルナリ
若シ仲間ノ者身ヲ退キテ組合解ケルキハ速ニ
解業シタル旨ヲ公報ス可シ若シ又タ一人ノこ
身ヲ退キテ業ヲ解カス組中ニ所殘ノ某甲ト組
外ノ某乙ト相約スルニ甲ハ依然ト其組ノ名ヲ
以テ業ヲ營ミ乙ハ之ヲ信シテ他ノ退身ニ拘ラ
サルコアリ然ル時ハ其旨ヲモ布告シテ退身ノ

者ノ其責ニ任スルヲ防ク可シ若退身ノ布告
ヲ為シタル后ニ至リテモ其名ヲ組中ニ存シ或
ハ店面ニ之ヲ貼シテ禁セサレハ乃チ其責ヲ免
レヌ
譬ヘハ數十名ノ組合中ニテ某ノ數人ハ金額ヲ
限リテ損得ニ任シ公ニ其姓名ヲ用ヒサルアリ
此ノ組合ヲ以テ事業ヲ營ムキニハ預メ先ツ約
書ヲ立テ組合商業ノ約款及右格別ノ仲間ノ損
得ニ任スヘキ金額ヲ明載シ而メ又々之ヲ新聞

紙ニ出スヲ要ス
右限定ノ組合ニ於テ格別ノ仲間金額ヲ限リテ
其責ニ任スル
者ハ唯タ約款ニ所載ノ金額ノ損得ニ任スル耳
ニシテ其名ヲ以テ商業ヲ經營スル總体ノ仲間
ニ至リテハ一体ノ通債ヲ認メサル可ラス且又
組合ノ期限未タ盡キサル間ニ仲間ニ於テ之ヲ
解クキハ其趣ヲ官ニ報シ新聞紙ニ出ス可シ

通法撮要卷二終

通法撮要卷二終

發行

東京大傳馬町

袋

屋龜治郎

同

南傳馬町

近江屋半七

西京醒ヶ井通魚ノ棚

丁子屋庄兵衛

大坂心齋橋通南久寶寺町

小島屋伊兵衛

同

通南本町

敦賀屋為七

書肆

